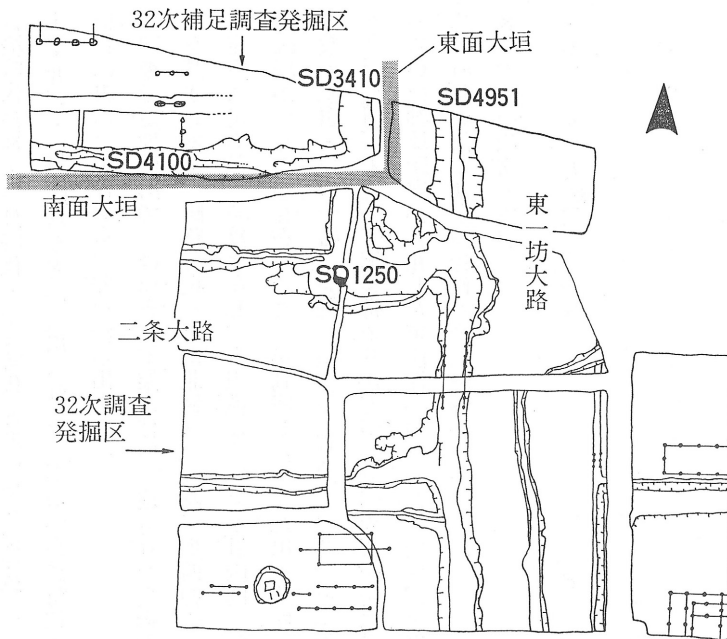


# 一九七七年以前出土の木簡(九)

## 奈良・平城宮跡(第三二次補足調査)

- 1 所在地 奈良市佐紀町
- 2 調査期間 一九六六年(昭41)五月～十二月
- 3 発掘機関 奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部
- 4 調査担当者 杉山信三
- 5 遺跡の種類 宮殿・官衙跡
- 6 遺跡の年代 奈良時代～平安時代初期
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要  
 第三二次補足調査は、平城宮東南隅で、本誌六号で紹介した第三二次調査区の北西に接する場所で実施された。調査面積は一一八二㎡である。検出した主な遺構は、南面大垣と築地一条、建物二棟、柵四条、溝二条、炉四ヶ所などである。  
 木簡が出土したのは、南面大垣の北を東へ流れる東西溝SD四一〇〇と、調査区東端で確認された、東面大垣の内側を南流する南北溝SD三四一〇からである。



第32次調査・同補足調査遺構略図



三、考課木簡は、その形態上の特色として、上端側面から小穴をあけ、紐等で貫綴することができるようになっているものが多くみつかった。これは考課関係の木簡の機能を検討する上で重要な手がかりを与えている。

四、木簡の年紀は神亀五年から宝亀元年までをふくむが、神亀年間のものは発掘区のSD四一〇〇の西端においてのみ出土しているので、それ以外はほとんどが天平神護年中から宝亀元年頃までのものとみてよい。

- (1) ・「式部省召 書生佐為宿祢諸麻呂

十二月廿 [ ] (183)×35×3 019

- (2) 「大学寮解

申宿直官人事少允從六位上紀朝臣直人  
神護景雲四年八月卅日  
300×40×1 011 三七一五号

- (3) 「大学寮解

申宿直官人事直講正八位上濃宜公水通  
天平宝字八年[九]月十一日  
241×33×3 011 三七五三号

- (4) 「河内職解

申宿直× 091

- (5) 「諸司移

・「神護景雲」 (題籤軸)  
388×26×8 061

- (6) ・「諸司解

・「諸司移」 (題籤軸)  
(48)×29×2 061 三七六四号

- (7) ・「史生省掌

神護景雲元年 (題籤軸)  
・「史生省掌

神護景雲元年 (65)×30×10 061

- (8) ・「国解上日

・「国解上日」 (題籤軸)  
(54)×24×7 061

- (9) ・「无位田辺史廣」[調カ]進続勞錢伍佰文

撰津国住吉郡神亀五年九月五日勘錦織  
秋庭 172×32×3 032

- (10) ・「位子山辺君忍熊資錢五百文」

神亀五年九月七日勘瓶原東人 161×20×4 032

- (11) ・「益田君倭麻呂続勞錢」

神亀[五カ]年[ ]月廿七日 144×15×3 032

- (12) 「去上位子從八位上伯祢廣地」年卅二河内国安宿郡

392×30×14 015

- (13) 「去上 從八位下□□□□<sup>〔人カ〕</sup>守公麻呂<sup>〔年五十四〕</sup>河内国志紀郡『上日二百十船稻』  
 一 292×30×10 015 三七九五号
- (14) 「去出 位子无位日置造尾□□<sup>〔年〕</sup>四 (319)×(7)×6 015
- (15) 「去不 大初位下□□□□<sup>〔年五十六〕</sup>右京 (250)×25×6 019 三七九七号
- (16) 去上 留省大初位上秦忌寸祖足□□<sup>〔年〕</sup> 091
- (17) 「去上<sup>・</sup>」大初×  
 「今上<sup>・</sup>」大初×  
 (72)×26×8 015 三八〇三号
- (18) 「去不<sup>・</sup>」正八位下□□ 091 三八三三号
- (19) □秦人真田麻呂□□□□<sup>〔年カ〕</sup>四<sup>〔年カ〕</sup>卅<sup>〔年カ〕</sup>卅<sup>〔年カ〕</sup>近江国愛智郡人 091 四〇〇七号
- (20) 養宿祢国足□□<sup>〔年〕</sup>五十八<sup>〔年〕</sup>大和国添下郡□□<sup>〔人カ〕</sup> 091 三七二〇号
- (21) 執当幹了 091
- (22) 訪察精 091
- (23) 勤於記事誓失无□□<sup>〔隠〕</sup> 091
- (24) □<sup>〔匪〕</sup>懈善 091 三九二二号
- (25) □<sup>〔降カ〕</sup>為中等 091 三九三三号
- (26) 上日百五十三 091 三九〇五号
- (27) 上日三百 091 三九一一号
- (28) 「諸司叙位案」 265×14×3 051 三七六三号
- (29) 「依遣高麗使廻来天平宝字二年十月廿八日進一階叙」 243×20×4 015 三七六七号
- (30) 「外從初上物部浄人<sup>〔年卅一荒玉〕</sup>遠江国敷智郡人□□□□<sup>〔高麗カ〕</sup>遣□□<sup>〔高麗カ〕</sup>使叙位」 296×28×3 011
- (31) 護元年正月七日恩勅進一階叙 091 三七六八号
- (32) 今正八上正八下 091

